

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893400028		
法人名	社会福祉法人 清河会		
事業所名	サングリーンピア大子ケアセンター 「小規模多機能型居宅介護事業所」	ユニット名	
所在地	〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤4144		
自己評価作成日	平成26年9月15日	評価結果 市町村受理日	平成27年4月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2013_021_kihon=true&JigyosyoCd=0893400028-00&PrefCd=08&VersionCd=021
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年11月21日	評価機関 決 済 日	平成27年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・ご利用者様やご家族様のご希望に添って、予定変更や送迎時間の調整など常に柔軟な対応を心掛け、共に支えあう関係作りに努めております。</p> <p>・家庭的な雰囲気の中で顔馴染みの職員がご利用者様の要望にあわせ、常に家族のようにお一人お一人の個性を大切に想いに寄り添いサービス提供させていただいております。</p> <p>・ご家族様との毎日の連絡を希望されている利用者様には携帯を持ち込み自由に電話でお話をして頂き、安心感を持って生活していただいております。</p> <p>・近隣の小中学校、保育園、長寿会等の慰問受け入れや時間制限のない面会などで馴染みの方、地域の方々との交流が図れますよう努めております。</p> <p>・職員が考案した手作りのレクリエーションにて常に笑いの有る時間を過ごしていただいております。</p> <p>・居室、フロア共に広いスペースの中でゆったりとした時間を過ごしていただいております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は奥久慈の自然豊かな場所に立地し、春の新緑や秋の紅葉を楽しみながら穏やかに過ごせる環境となっている。</p> <p>近隣には保育園や小学校、中学校が立地しており、園児が来所したり、収穫祭や運動会に招待されて競技に参加するなど、日頃から地域住民と交流をしているほか、地元の老人会「長寿会」会員の協力で野菜作り用の畑を近隣から借用し、野菜作りのお手伝いも受けるなど、地域と密接な関係を築いている。</p> <p>管理者と職員は理念を名札ホルダーに入れて常時携帯し、利用者が住み慣れた地域で生き生きと生活ができるように、利用者に向き合って笑顔で支援をしている。</p> <p>事業所は無休で介護サービスに努めている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員により作成された理念を事業所内壁の見やすい場所に掲示しております。又、職員証ホルダーケースに理念を常備して各自で黙読復唱しております。月1回の職員ミーティング時に唱和して共有を図りながら理念に添ったサービスを実践しております。	開設時に全職員で話し合い「住み慣れた地域で生き生きと」など、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、居間兼食堂に掲示をしている。 職員は職員証ホルダーに理念を携帯したり、月1回の職員ミーティングに唱和して共有し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育園の慰問や中学校のふれあい体験等の受け入れや小学校や特別支援学校の発表会に出向き、交流を持っております。各学校の運動会では玉手箱に参加して地域の方々との交流を持っております。地域の長寿会様の協力を得て畑をお借りして野菜作りを楽しんでおります。	近隣の保育園児が来訪し、歌や踊りを披露して利用者と交流をしたり、小学校の収穫祭や特別支援学校の発表会に招待されて利用者と職員で訪問するほか、保育園や小学校、中学校の運動会では玉手箱等の競技に参加するなど、地域住民とも交流をしている。 事業所は中学校のふれあい体験学習の場を提供したり、バイオリン演奏のボランティアや地元高校の吹奏楽部の慰問を受け入れたりしている。 地域の老人会である「長寿会」の協力で、利用者が野菜作りを楽しめるようにと、近隣住民から畑を借りられることになるなど、地域と良好な関係を築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等で認知症についての話題となった時には、説明等を行っております。又、面会や相談にいらした方へ、認知症の症状の理解や支援法をお話しさせて頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会を構成し、2カ月に一度の会議開催時に『事業所便り』配布して事業内容や利用者様の現状報告を行い、活発な意見交換や指導を頂き、職員会議等で話し合いながらサービスの向上に努めております。ご家族様アンケートや外部評価の内容や結果等も細やかに相談、報告を行っております。	運営推進会議は隣接する同一法人のグループホームと合同で、家族等の代表や町職員、地域包括支援センター職員、区長、民生委員、地域住民の代表で2ヶ月に1回開催し、議事録を作成している。 会議では町職員から今後の介護保険制度の変更等の説明を受けたり、「事業所便り」で運営状況を報告している。 地域の代表の協力で、次年度から野菜作り用の借地が確保できたり、区長より「事業所の夏祭りを地域と共催で行ってはどうか」など活発な意見交換が行われ、会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2カ月に一度の運営推進会議には市町村担当者や包括支援センターから、町の介護福祉関連の情報を頂いております。又、役場窓口訪問や電話にてご利用者の介護保険認定情報や利用状況報告を随時行っております。	町担当者と地域包括支援センター職員が運営推進会議に出席している。 管理者は町の福祉課を随時訪問して、利用者の要介護更新認定の情報を得たり、事業所の利用状況等を報告している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	契約時に重要事項説明書にて身体拘束の禁止についての説明を行い同意を頂いております。身体拘束マニュアルを事業所内見やすい場所に設置、内部研修を実施して身体拘束の具体的な行為の確認を行っております。やむを得ず身体拘束を行う場合に備えて、「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」を準備しております。防犯のため玄関はオートロックを設置しておりますが日中の業務時間内は常時開錠しております。	管理者は同一法人のグループホームと合同で「身体拘束排除」に関する内部研修会を実施しているほか、身体拘束禁止のマニュアルやポスターを食堂に掲示し、身体拘束をしない介護に努めている。 契約時に利用者や家族等に重要事項説明書で身体拘束を行わないことを説明しているが、やむを得ず身体拘束を行う場合に備えて「緊急やむを得ない場合の身体拘束に関する説明書」で同意を得られるようにしているが、「経過観察記録」や「再検討記録」等の書類を整備するまでには至っていない。 玄関の施錠は夜間を除き開錠している。	やむを得ず身体拘束をしなければならない場合に備え、「経過観察記録」や「再検討記録」等の書類を整備することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内外で高齢者虐待防止法について勉強する機会を設け、職員間で共通の認識と理解を図れるよう努めて行きます。日常の業務の中では、職員同士お互いに注意を払いながら、虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法人内外で権利擁護について勉強する機会を設け、職員間で共通の認識と理解深められますよう努めて行きます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時において、重要事項説明書や契約書及び利用料金について、ご家族様やご利用者様の理解、納得が得られますよう十分な説明を行っております。内容の変更や改定等の際には事前に文書にてお知らせするよう契約書に明記して契約時に説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族様にも参加して頂き、町職員・民生委員・地域住民代表の方や事業所職員との意見交換の場を作っております。年1回無記名でのアンケートを実施してご家族様の思いを汲み上げ、職員会議で話し合い、運営に反映させております。	職員は利用者からは日々のふれ合いを通して、家族等からは送迎時や連絡帳で意見や要望を聴いているほか、年1回の無記名アンケートを実施して家族等の思いを汲みあげ、職員会議で検討して運営に反映させている。 家族等から送迎時の服装について要望があり、職員はエプロンを着用しない服装での送迎に変更している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は月1回の職員会議や主任会議に参加して、職員からの意見の要望を聞く機会を設けております。又、職員一人一人と会話出来る機会を作るよう心掛け、職員が気軽に意見を出せるよう努めております。	管理者は月1回の職員会議や主任会議に出席し、意見や要望を聞くように努めるとともに、職員が気軽に意見を出し易い関係づくりに配慮をしている。 職員から「他の業務に支障が出るので、会議を時間内で終了して欲しい」との要望があり、以降会議は時間厳守をすることに改善するなど、職員の意見等を運営に反映をさせている。 法人は毎年職員から自己評価シートを提出してもらい、職員個々の職場環境や労働条件などに対する意見や要望を聞く機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年度自己評価シートの提出を行い、職員個々の職場環境や労働条件などに対する意見や希望を参考として、職員各自がやりがいや向上心を持って働けるよう環境や条件の整備に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が法人内外の研修の参加できるよう配慮しております。職場内研修や勉強会も随時行っております。職場内では常に職員の活動に目を配り力量を把握して、必要な助言や指導を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人事業所の合同会議を開催して情報交換や検討会を行い、サービスの質の向上に努めております。町主催の研修会に積極的に参加してネットワーク作りに取り組んでおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前にご本人様との面談を行い、会話の中や何気ない言葉に耳を傾け、ご本人様の思いを感じ取り受け止められますよう受容と傾聴の姿勢に努めております。表情にも気を配り一つ一つに細やかな説明を行いながら、不安が軽減でき安心して利用して頂けますよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前の面談や準備段階を通して、ご家族様に不安や要望を気兼ねなくお話しして頂けますよう傾聴、共感しながら話しやすい環境、雰囲気づくりに配慮して信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前の面談において、ご本人様やご家族様が今必要であろうと思われるサービスを見極め、他のサービスや社会資源を必要とおられる場合には、情報提供や紹介などの対応に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の心身の状態に合わせ、日常生活のお手伝いをしていただいております。又、人生の大先輩として季節行事や生活の中の知恵など助言、指導を仰ぎ年長者としての自尊心を高めて頂けるよう努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用時のご本人様の生活の様子や心身の状態を連絡ノートに記録して常に情報を共有しながら支援しております。送迎や面会時、必要時には随時連絡を密にして常に家族としての意識を持っていただけますような関係構築に努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	サービス利用時のご家族様や知人の面会は時間制限する事無く対応させて頂いております。ご家族様が対応できない時の通院の付き添いや馴染みの店での買い物のお手伝い、長い間支援して頂いた方との連絡や外出のための援助もお手伝いさせて頂いております。	事業所は家族等や知人、友人などの来訪時間を制限せず、何時でも可能な限り面会ができるように支援をしている。 利用者は家族等の協力で馴染みの理美容院に通っているほか、送迎時には職員が利用者の馴染みの店での買い物に同行するなど、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係性を把握して、座席の配置に配慮しながら、ご利用者様同士のコミュニケーションが図れますよう努めております。ご利用者様全員が関わりあえ協力しながら行えるレクリエーションを実施しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	身体状況の変化により同法人特養利用となられた方を継続的に面会して状況確認、声かけ等を行っております。又ご家族様に対しても電話等でその後の様子をお伺いするなど経過の把握に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様お一人お一人の暮らしに対する思いや意向を把握できます様、基本情報や生活歴を把握するよう努めております。毎日の生活の中で発する何気ない言葉や仕草などからも思いを感じ取れるよう努め、支援経過への記録や申し送りにて情報を共有するよう努めております。	職員は利用者の基本情報から生活歴やこれまでの思いを把握するとともに、日々の生活の中で仕草やつぶやきから思いを推し測り、意向の把握に努めている。 利用者の表情や仕草に変化を感じた場合には、介護支援経過記録に記載して蛍光ペンでアンダーラインを引き、申し送り時などに職員で話し合って情報を共有するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	申し込み時点から利用開始まで継続してご本人様・ご家族様への聞き取りなどで必要な情報の把握に努めております。又、他事業所との連携を図り情報収集を行い、現状に至るまでの経過等の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を支援させて頂きながら、お一人お一人の有する能力を見極めながら、ご自分でできる事や援助が必要な事を話し合いを行い、全職員が把握するよう努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画はご本人様、ご家族様の希望をお伺いしながら、お一人お一人の生活の中の解決すべき課題を抽出し、現状に即した介護計画を作成しております。心身の状態に変化が見られた時や必要と思われる時にはその都度見直しを行ってゆきます。	介護計画は利用者や家族等の要望、意向を取り入れるとともに、医師の意見書や支援経過記録を基に課題を把握し、職員で話し合って介護支援専門員が作成している。 介護計画は1年間を基本とし、毎月モニタリングを実施して長期目標は1年、短期目標は6ヶ月として計画の見直しをしている。 心身の状態に変化が生じた場合には、随時現状に即した介護計画に見直しをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常生活の様子の変化や気付きなどは、個別の生活記録に記入して、特に必要と思われる自由は「申し送りノート」に記入してローテーションで時間差のある出勤時間に必ず目を通すことを義務付け署名し、職員間での情報の共有に努め実践しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご本人様の急な要望や都合に合わせて、その都度変化するニーズに合わせて随時、通い・宿泊・訪問予定を変更して柔軟な対応に努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者様が毎日を安心して過ごす事が出来ます様、主治医や他医療機関、消防署との連携を図っております。又、日常の生活が楽しみのある豊かなものとなれます様、近隣保育園、小中学校、長寿会との交流や行事参加、ボランティア受け入れなどを行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様対応が困難な時には職員が付き添いを行い、長年信頼関係を築いてこられた主治医への受診継続を支援しております。その際受診後はご家族様へ報告を必ず行っております。又、ご家族様との受診時には、日々の状態や気になる点を記録して受診時にご家族様へお渡ししております。	事業所は利用者や家族等が長年信頼関係を築いてきた、個々のかかりつけ医への受診を支援している。 かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを原則としており、受診の際には日常生活情報等を提供し、受診後は家族等から受診結果を聞いている。 家族等が付き添えない場合には職員が同行し、結果は電話や送迎時に家族等に報告をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日の健康チェックを行い、体調変動の早期発見に努めております。異常が見られた時には事業所看護師や法人看護師に状況を報告して、適切な処置や対応が受けられます様支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院となった時には、安心して治療が出来、早期退院が出来ます様、医療機関との情報交換やカンファレンスを開催するよう支援させていただきます。又、状態確認の為の面会等も随時行い、関係者から情報を頂くなど日頃から医療機関との連携が図れます様努めて行きます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約の段階で重要事項説明書において事業所の終末期に向けた対応を明記し、ご家族様に説明を行い同意を頂いております。又、「終末期介護マニュアル」を作成し、職員間で話し合いを行ったり、看護師による勉強会を実施して方針の共有に努めております。	事業所は重要事項説明書の「緊急時・重度化の対応」で看取りは行わないことを利用者や家族等に説明し、同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者様の急変や事故発生時に備えて、AED使用方法の勉強会や看護師による緊急時の対応法やパルオキシメーター使用法などの勉強会を定期的に行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	利用者様も加わって頂き、夜間を想定した避難訓練を職員全員が体験して身に付けられるよう毎月計画実施し、年1回は消防署員、車両の派遣を要請して、消火訓練を実施しております。その際は運営推進会員も交えて、煙疑似体験も行い、地域の協力体制を築いております。	同一法人グループホームと合同で、年1回消防署立会いのもと行う消防訓練には、地域住民も参加して実施するとともに、毎月事業所独自で夜間想定での避難訓練を実施している。訓練後に報告書を作成し、訓練で明らかになった問題点や反省点を職員で話し合い検討をしている。事業所独自の避難訓練は、同一法人のグループホームとの室内間での避難訓練であり、外部に設置された避難場所までの避難訓練を実施するまでには至っていない。災害に備え、水や米、レトルト食品、缶詰、菓子、おむつ等のリストを作成し、定期的に数量や賞味期限を点検して備蓄している。	戸外に設定された避難場所までの夜間想定を含めた避難訓練を実施することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員がご利用者様お一人お一人を個人として尊重し、尊厳ある言葉かけや入浴や排泄関係の声かけは耳元で行い、トイレの外で待つなどのプライバシーに配慮して支援しております。個人情報に関する書類は事務所内のカギのかかるキャビネットに保管して個人情報の保護に気を付けております。	職員は利用者一人ひとりの「個人」を尊重し、人生の先輩として敬い、尊厳ある言葉遣いに努めている。 利用者の羞恥心や自尊心に配慮し、入浴や排泄の時は耳元で声かけをしたり、トイレの外で待つなどしてプライバシーに配慮した支援をしている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚に保管し、情報漏洩に留意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご利用者様と関わる機会を多く持つ事で、ご利用者様の発する言葉に耳を傾け、行動や表情にも気を配るよう努めております。会話の困難な方へは、うなずきや瞬きでの自己決定を促すよう声かけや働きかけを行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課は団体行動を強制する事無く、お一人お一人の好みやペースに合わせて過ごして頂けますよう支援しております。ご希望に合わせて入浴の順番や日にちの変更、食事時間をずらすなど柔軟な対応を心掛けております。食後やゆっくりと休息を希望される方のためにベッドやソファも準備しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣介助の際には、ご本人様の希望に添った衣類の洗濯を支援しております。起床、入浴介、口腔ケア等鏡の前に立たれた際には、声掛けにより鏡を見て頂き、整容、整髪を支援してご本人様の意識、意欲向上に努めております。職員は常に状態観察を継続して身だしなみにも気を配っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の状態に合わせ、テーブル拭きや片付け等のお手伝いをお願いしております。自立摂食困難な方には、職員が一口々声掛けしながら支援しております。又、職員が同じテーブルと一緒に食事を摂っております。季節行事食やおやつ作りなどを取り入れ、食事が楽しい時間となれます様支援しております。	職員は利用者を見守り、食事介助をしながら同じ食事を摂っている。 自家菜園で収穫された茄子やきゅうりなどの野菜は、味噌汁や香の物として季節感を感じさせるものとなっている。 食事が楽しみなものとなるように、正月のお節料理や雛祭りの特別食、流し素麺などを献立に取り入れたり、誕生会にケーキ等の特別食を提供しているほか、利用者は職員とおやつの饅頭作りを楽しんだりしている。 利用者は出来る範囲でテーブル拭き等の役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量はご利用者様お一人お一人の好みや摂取可能量・習慣に合わせて形状も工夫しながら調整しております。疾病により日によって摂取状態変化の有る利用者様には補助食品の持込をお願いして栄養摂取の支援をしております。一日を通じて水分補給の回数を多くとり十分な水分補給に努めております。	/	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様全員に毎食後の口腔ケアを実施しております。必ず職員が付き添い必要に応じ援助しております。認知症が進行して行為への理解が得られない利用者様には、職員が自ら口腔ケアを行い一緒に行なってもらうなどの工夫をしております。	/	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄管理表を作成して、お一人お一人の排泄リズムやサインを把握し、声掛け誘導を行う事により排泄の失敗を減らせるよう支援させて頂いております。トイレ内にはタオルウォーマーを設置して、排泄後に暖かいタオルで清拭を行う事が出来ます様配慮しております。	職員は排泄管理表で利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、利用者のリズムに合わせたトイレ誘導や利用者の様子を見て声かけ誘導を行うことにより、排泄の失敗が減らせたり、紙パンツから尿取りパッド使用での布パンツに移行できた利用者もいる。 トイレ内にタオルウォーマーを設置し、排泄後は暖かいタオルで利用者に不快感無く清拭ができるように配慮をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食に乳酸菌飲料を提供、健康体操を日課として適度に身体を動かす機会を作っております。又、十分な水分補給を支援して便秘予防に努めております。排泄管理表にて個々の管理を行ない、ご本人様の希望時には腹部マッサージ等を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご希望があれば毎日の入浴は可能ですが、ご利用者様の心身の状態に応じて一日おきに入浴していただいております。季節に応じ柚子や菖蒲湯、入浴剤を使用して入浴が楽しみなれます様支援しております。身体状況に応じ清拭や足浴などでの対応するなど個々に応じた入浴を支援しております。	宿泊利用者は週3回の入浴を基本としているが、利用者の希望があれば毎日でも入浴が可能となっている。 通常は入浴剤を使用しているが、季節に応じて菖蒲湯や柚子湯を取り入れ、利用者が入浴を楽しめるように支援をしている。 利用者の身体状況に合わせて清拭や足浴など、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様の体調やご希望に合わせて、居室での静養・ソファでの休息を自由にお取り頂いております。各居室にはエアコンを設置して好みの室温で快適に眠れますよう支援しております。冬場には希望に応じ電気毛布の持ち込みも対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人お一人の服薬情報書をお預かりファイルして、個々の服薬状況を全職員が把握して毎日の管理を行なっております。健康チェック表を作成して、服薬時間を記録して飲み忘れ防止に努めております。独居の利用者様の服薬もお預かりして毎日訪問しながら管理をするなど個々に合わせた対応を心掛けております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で個々の能力に応じた役割を持った張りのある生活が送れますよう支援しております。洗濯物をたたんだり、食前のテーブル拭き等主婦感覚を思い出して積極的に取り組んでいただいております。好みのテレビ番組を視聴していただいたり、甘い物が好きな利用者様には、ご家族からお預かりしたおやつを希望時に提供するなどの支援をしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季折々の行事が体感出来ます様、鯉のぼり見学や同法人の夏祭り参加して若い頃を思い出し盆踊りやお囃子を楽しんで頂きました。近隣の保育所運動会に参加して玉手箱競技に出場しております。一人暮らしで家族様が遠くなかなか対応が難しい方の病院受診や買い物、床屋への支援等連絡調整しながら対応させて頂いております。	天気の良い日には、利用者は職員と一緒に事業所近辺の散歩や自家菜園に出かけている。 事業所は季節に合わせて行事計画を作成し、静峰公園のお花見や竜神峡の鯉のぼり見学、同一法人と共催での納涼祭、近隣の紅葉狩り等に同一法人の運転手付きバスを使用し出かけられるように支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様がご本人様の財布を持参して、自販機でお好きな飲料を購入出来ます様お手伝いしております。独居でご家族様管理の所持金が少なくなったご利用者様の依頼を受け、ご家族様へ連絡をして送金していただくなどの支援もさせて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自分の携帯を持ち込みを希望され、ご家族様と自由に連絡が取れ安心して生活出来ます様、必要時には充電のお手伝いもさせて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内壁には手摺を取り付け、利用者が安全に移動が出来るよう配慮しております。フロアからは大きなガラス戸越しに中庭が見えるようになっており、四季折々の変化を楽しんで頂けます。夏場はご利用者様家族様が育てた様々な花で一杯になっております。冬場にはコタツを設置して団欒の場所を設けております。フロアにはご利用者様の季節の作品を飾るなど明るい雰囲気の中で生活して頂けます様工夫しております。	事業所内はバリアフリーとなっており、廊下の壁面に手すりが設置され、安全に配慮されている。 居間兼食堂は温度と湿度が管理され、快適な空間になっており、利用者と職員で制作した貼り絵などの作品を飾ったり、観葉植物が配置されていたりして温かい雰囲気過ごせる空間になっている。 居間の一角には炬燵が配置されおり、利用者同士が自由に語り合える場所となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内中央には大きなテーブルを設置して、コミュニケーション作りの為の共有スペースや、親しい利用者様同士が話し合える小テーブルや壁際にソファを設置して、各々自由な場所でもいもいに過ごせますよう工夫しております。休憩室にもベッドを備えつけ、休憩出来ます様配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	宿泊の部屋にはご利用様の好みの物や使い慣れた寝具などを自由に持ち込んでいただき、自宅と同じように寛いで過ごして頂けますよう配慮しております。家族の写真や入院時に送られた千羽鶴なども持ち込んで頂いております。棚に置いた介護用品が他者からは見えないよう職員が手作りカーテンを設置するなどの配慮をしております。	居室にはエアコンやベッド、寝具、整理箆笥、カーテンが備え付けられている。管理者は利用者や家族等に使い慣れた物品の持参を勧めており、利用者は電気毛布や家族の写真、ぬいぐるみ、時計、携帯電話などを持参し、自宅と同じような環境で過ごせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は全面バリアフリーとなっており、車椅子使用の利用者様が自由に自走しておもいのままに移動する事が出来るようになっております。又、内部壁には手摺を取り付け自立歩行、安全な移動・移乗が出来ます様配慮しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 サングリーンピア大子ケアセンター

作成日 平成27年4月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	やむを得ず身体拘束をしなければならない場合に備え、「経過観察記録」や「再検討記録」等の書類を整備する事を期待する。	やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合に備え、「経過観察記録」や「再検討記録」等の書類を整備します。	法人で使用している書式を参考に準備します。	6ヵ月
2	13	戸外に設定された避難場所までの夜間想定を含めた避難訓練を実施する事を期待する。	戸外に設定された避難場所までの夜間想定を含めた避難訓練を実施します。	年間の避難訓練の中に戸外避難場所までの避難訓練を計画し実施します。	1年間
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。